

サクセスフル・エイジングの研究



生きているかぎり誰もが「老い」を経験する。そして「老い」が避けられないものであれば、良い「老い」方をしたいと誰もが望む。老年学の主要なテーマの1つであるサクセスフル・エイジングに関する研究をまとめる。少子高齢・人口減少化社会におけるサクセスフル・エイジングの課題として、高齢期の生活への適応をめぐる問題を取り上げ、高齢者の、高齢期におけるコンピテンスやライフスキルの観点からアプローチした。

ISBN:4762012963 465 頁(A5)2004 年 2 月 15 日出版
学文社 9,500 円

内容

適応の概念と高齢期における適応問題
高齢期における自立生活と日常的コンピテンス
高齢期の生活とライフスキル
退職形態の多様化とサードエイジの生活課題
高齢者の日常的な生活行動
高齢者のテレビ視聴行動
高齢者の老年規範意識
セカンド・マジョリティ・グループとしての高齢者の社会観
高齢者の日常的コンピテンスの構造と測定尺度〔ほか〕

著者略歴: 小田利勝

1948年生まれ。静岡県立伊東高等学校、北海道大学文学部、同大学院博士課程、北海道大学助手(文学部、大学院環境科学研究科)、徳島大学助教授(総合科学部)、同教授を経て、現在、神戸大学教授(発達科学部人間科学研究センター)。学術博士